

2022年第1回渉外総務委員会議事録

本会議は予定通り開催し、その概要は以下の通りでした。

- 1 日時及び場所 2022年7月27日(水) 11:30～
公民センター・1F会議室
- 2 出席者 駒村代表理事、秋山委員長、木村委員、野中委員、高橋委員、人見委員、津覇委員、鈴木委員、阿部委員、染谷事務局長、
(欠席:森川委員)
- 3 協議事項
以下2件について、秋山委員長が議長となり、染谷事務局長に説明を求めたうえで、協議した。

(1) ブロックの再編の件

本年度第1回定例理事会(4/27)において、以下のとおり協議・了承されたことから、当委員会において再編案及びブロック幹事・副幹事の業務の在り方等について検討することとする。

(第1回定例理事会における内容)

当協議会では、これまで会報等の配布を主たる要因として、各ブロックの幹事及び副幹事が配布しやすいように会員数を考慮し7つのブロックを設定しておりますが、現在は、会報や各種連絡は、メール便で各社に直接配布しているほか、メールやFAX又はホームページを通じての連絡をしていることから各ブロックの在り方を見直す時期に来ている。

また、ブロック幹事及び副幹事の業務についても配布業務がなくなったことにより各社訪問ができないことから、地区の状況等の把握がしにくくなっており、ブロック幹事・副幹事の在り方も検討する必要が生じている。

については、以下の要因を踏まえたブロックの再編及びブロック幹事・副幹事の業務の在り方を渉外総務委員会において今年度中に検討していくこととする。

- ①地域性を踏まえたエリア設定とする。
- ②エリア内の会員数に大きな差がないように考慮する。
- ③幹事・副幹事の業務の適正化と継続性を考慮する。
- ④ある程度活発なコミュニティができるような規模とする。
- ⑤その他

*各ブロックの会員数等(各年4月現在)

《2021年度》									
ブロック	1B	2B	3B	4B	5B	6B	7B	賛助	計
会員社数	26	36	30	29	45	31	21	5	223
従業員数	980	1,450	513	713	1,373	512	545	2,094	8,180

《2022年度》									
ブロック	1B	2B	3B	4B	5B	6B	7B	賛助	計
会員社数	27	37	31	29	45	33	22	5	229
従業員数	990	1,459	536	682	1,373	532	633	2,094	8,299

* 検討事項

ブロックの再編案について、以下を前提に検討する。

- ・地域性を踏まえたエリア設定とする。
- ・エリア内の会員数に大きな差がないように考慮する。
- ・ある程度活発なコミュニティができるような規模とする。
- ・工業団地及びその近辺以外の会員は、別ブロックを編成する。

① ブロック数について

現在の7ブロックを4ブロックとし、地域外及び賛助会員を5ブロックとする。

なお、工業団地近辺にある事業所は、可能な限り1～4ブロックに編入させることとする。

現 行		再編案		考慮した事項等	備 考
ブロック名	会員社数	ブロック名	会員社数		
1	27	1	61	・1社を2ブロックへ移動 ・2社を4ブロックへ移動	
2	37				
3	31	2	44	・2ブロックから1社編入 ・4ブロックから12社編入	
4	29				
5	45	3	62		
6	33	4	43	・地域外14社を除く ・2ブロックから2社編入	
7	22				
賛助会員	5	5	19 (5)	・地域外14社、賛助会員5社	() 内は、賛助会員数で内数
地域外	—				

② ブロック幹事・副幹事の業務及び任期等について

当面、業務及び任期は、現行のままとする。

選任に当たっては、各ブロックの会員数が増となるので、理事及び監事を除くものとする。

なお、新5ブロックには、幹事・副幹事を置かないものとする。

※本件については、おおむね了解とする。再編成は、2023年4月からとする。

(2) 防災対策の件

近年、地震、台風、豪雨及び感染症のパンデミックなどの災害が頻発しており、各企業においては事業継続計画(BCP)を策定し対処していることと思いますが、当協議会としても全体的な会員相互の支援・協力体制を整備するとともに、地域への支援・貢献などが行えるよう災害時の応急対応が速やかに図れるようにしていかなければならない。

については、以下について協議し、具体的に進めていくこととする。

① 防災対策事業の所掌委員会について

防災対策に関しては、定款では当法人が行う事業の一つとしていましたが、どの委員会でも所掌するかが明確でなかったため、渉外総務委員会において所掌することとする。

② 当面行うべき取組み事項について

当協議会として取組むべき事項を整理し、今後、独自の防災計画を策定することとする。

〈主な取組み事項等〉

- ① 災害対策組織の構築
- ② 災害時の連絡網の整備
- ③ 災害用資機材の整備・備蓄
- ④ 関係行政機関との連絡、相互支援体制の確立（災害相互支援協定の締結）
- ⑤ 会員間の相互協力体制の構築
- ⑥ 非常時における地域社会等への貢献
- ⑦ 防災訓練及び知識の普及・啓発
- ⑧ 災害危険個所の把握
- ⑨ その他

※来年度中の策定を目指し進めることとする。

4 報告事項

(1) 関係機関への要望書の提出の件

代表理事、副代表理事及び事務局長の5人により、以下の日程で、別添要望書をそれぞれ説明のうえ提出する予定である。

- ① 8月26日（金）13：30～ 白井市役所（白井市長ほか）
- ② 26日（金）15：30～ 印西警察署（署長、交通課長ほか）

(2) みどりの里納涼盆踊り大会中止の件

8月5日（金）に開催予定の納涼盆踊り大会の可否について、7月19日（火）開催されたみどりの里づくり協議会の交流・福祉部会において、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し再検討した結果、安全を最優先し中止するとの判断がされた。

当協議会としても中止の判断を支持することとする。

なお、既にご協力いただいた協賛金については、来年度分として繰越すこととし、関係各社に文書にて了解をいただくものとする。

現在(7/22)の協賛金： 59社 550,000円（一部未収金あり）

(3) 夏季休業期間における防犯対策の件

以下の取り組みとする。

- ① 警備会社による昼夜間のパトロールの実施
期間：8月10日（水）夜間～8月16日（火）夜間
- ② 会報等による啓発の実施
8月会報により自主防犯対策の徹底を呼び掛ける。
また、7月下旬に事務連絡を発出し（メール、FAX）夏季休業の防犯対策の啓発を行う。

(4) ちばレインボーバスからの依頼の件

昨年7月に新型コロナウイルス感染症の影響により、減便を含めた時刻改定を行った。経営的には、燃料の高騰も加わり厳しい状況に変わりはない。

しかしながら利用促進に向け、今後、利用者の利便性向上に向けた以下（案）の取り組みを検討したいので、協力を願いたいとのこと。

協力の内容は、現在自社バスを何時にどの駅に何台利用しているか、また乗車人数はどのくらいか、路線バスがあった場合に利用するかなどの情報提供となる。

【利用促進案】

- ① 定期券の幅広い活用（利便性の向上）

工業団地から高柳駅への定期券を帰りの便で新鎌ヶ谷駅でも使えるようにする。
(複数駅利用定期券：価格は少し上昇する。)

- ② 路線バスの一部を工業団地行き専用バスに振り分ける。
(原則、乗務員や車両の増は行わないので、朝3本の路線バスのうち1本を工業団地の通勤専用バスとすることで、路線バスが減となり、その利用者に影響が出ることもある。)
- ③ ②を実施した場合、第2工業団地まで延伸すること、またルートを追加することが可能となる。

※後日(10月頃)、自社バス利用等に関するアンケート調査を実施する。

(5) 生産性向上支援セミナーの開催の件

開催日時：9月28日(水) 9:30~16:30

会 場：公民センター・会議室

テ ー マ：「災害時のリスク管理と事業継続計画 (BCP)」

講 師：岡 輝英 氏 (中小企業診断士)

参加費：3,300円/人 (会員：無料)

5 その他

1) 事務局の夏季休業の件

以下のとおりとする。

休業期間：8月12日(金)~8月16日(火) 土日を含む5日間

なお、8月11日(木)が山の日(休日)であるため実質6日間となる。

6 閉会